

ディーラーの独り言（2018年1月24日）

◆本日の予想レンジ

ドル円 110.00～111.00

昨日の日銀会合後の黒田総裁は、市場のテーパリング観測を打ち消して金融緩和政策の維持を示した。9日のオペについても「日々のオペが先行きの政策スタンスを示すことはない」とし、改めて先行きオペ減額を否定した。これを受けて、海外市場に入ってドル円は一時111円台に乗せたものの、111円17銭までに留まり、18日の直近高値111円48銭にも届かず、結局ドル買いは長続きしなかった。今回の黒田総裁の会見は注目度が高かっただけに、これまでの発言を繰り返しただけだと受け止められた。逆にニューヨーク時間では、ダウ平均が取引開始から利食い先行で伸び悩んだことや、ドル指数の低下もあって110円25銭まで反落してしまった。予想以上にドル円の上値は重いようだ。また、昨日は米金利の低下もドル円の下落要因だったようだが、最近のドル円は米金利の上昇にはあまり反応せず、低下には敏感に反応する確率が高くなっている所以要注意だ。一方、取引については110円台半ばで作ったロングポジションが目標の利食い水準には届かず、ポジションはそのままになっている。引き続き上値が重く、イベントが一つ終わったあとで方向感のない展開が予想される。ドル円は110円～111円のレンジを見込むが、念のため110円割れの動きには警戒し、110円割れにストップのオーダーを置いておきたい。

提供：SBIリクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。